

## 24. 船員労働・船舶の安全運航の監督・指導業務の現況

運航労務監理官の業務は、船員の労働条件の確保、船員災害の防止に関すること及び船舶の安全運航の確保に関すること等である。

船舶監査等を通じて、船員の労働時間の遵守状況や、海技免状等の資格を有している船員を乗り組ませているか等検査し、船員の労働保護や航海の安全が図られているか確認している。違反等を確認した場合には、違反者に対する行政措置、司法処分を通して違反の是正を図っている。

また、旅客航路事業の許認可に際して安全審査を行うほか、船舶の運航管理に関する監査及び指導、船舶運航者が構築した安全マネジメント体制の評価、届出のあった安全管理規程の審査を通して、安全運航の確保に努めている。

さらに運航安全管理研修会(表-1)や小型漁船安全講習会(表-2)を開催し、関係者に対する啓発を行い、安全運航意識の浸透を図っている。

表-1 運航安全管理研修会開催状況

(令和3年度)

開催地	福岡地区	北九州・下関地区	佐賀地区	長崎地区
実施年月日	令和4年2月17日	資料を配付	令和3年11月29日	令和3年11月9日
研修項目	①走錨リスク判定システム(錨ing)の紹介 ②海難事故について ※Web開催	①海難防止について ②安全管理規程について	①安全運航に係る船舶事故事例の検証と事故防止について ②運輸安全マネジメントについて	①海難の現況について ②安全運航に係る船舶事故事例の検証と事故防止について
受講者数	13事業者 20名		10事業者 16名	27事業者 50名

開催地	佐世保地区	熊本地区	大分地区	宮崎地区
実施年月日	令和4年2月7日	令和3年11月18日	中止	令和3年12月15日
研修項目	①海難の発生状況等について ②運輸防災マネジメントについて	①運輸防災マネジメントと走錨対策について ②海難事故事例について		①海難の発生状況等について ②海難事故を防ぐために
受講者数	18事業者 43名	12事業者19名		5事業者 6名

開催地	鹿児島地区
実施年月日	令和3年12月2日
研修項目	①船舶海難の現状 ②運輸防災マネジメント指針について、事故発生時の対応について
受講者数	24事業者 35名

合計 127事業者 192名受講

表-2 漁船安全講習会実施状況

(令和3年度)

開催地	実施年月日	講習会テーマ
長崎市	令和3年6月23日	船員災害防止について
佐世保市	令和3年7月23日	船員の災害防止等について
新上五島町	令和3年7月27日	船員災害防止について